令和元年度　第１回学校評議員会（概要報告）

１　日　時　令和元年７月１日（月）１３：２８～１４：４３
２　場　所　本校会議室
３　出席者　〇学校評議員　洞野　博文　様（大麻高等学校ＰＴＡ名誉会長）
三好　健夫　様（大麻高等学校同窓会幹事長）
金井　正治　様（(株）アトリエ陶・(株）風の村代表取締役）
平本　重徳　様（江別市小中学校学習サポート教員）
藤原　弘美　様（元本校ＰＴＡ副会長）
〇本校職員　根上　和也（校　長）
荻島　勝幸（副校長）
一岡　憲和（教　頭）
板橋　浩昭（総務部長）
袴田　　純（教務部長）
立川　晴也（生徒指導部長）
細川　泰芳（進路指導部長）
記 録　（総務部）

４　内　容（進行：荻島副校長）
(1) 開　会（荻島副校長）
(2) 令和元年度　学校評議員の委嘱　（根上校長）
(3) 校長挨拶（根上校長）
本日はお忙しい中、お越し頂きまして誠にありがとうございます。
今年度の教育活動はこれまでのところ順調に進んでおります。生徒の活躍としましては、高体連全道大会で陸上競技部の近藤崇仁君が棒高跳びで全道優勝を果たし、３年連続全国大会（インターハイ）への出場を決めました。チアリーディング部も全国大会連続出場を果たしました。全国総合文化祭では書道部の佐藤ひなこさん、文芸部では加藤楓優香さん、美術部の志岐瑞生さんが参加いたします。水泳部がこれから全道大会を控えております。他の生徒につきましても学習と部活動をバランスよく進めていると思います。
外から見ても、大麻高校は魅力ある学校と言われるように、皆様のご意見を頂き、今後の教育活動に反映させていきたいと思います。本日は忌憚のないご意見をお願いいたします。
(4) 自己紹介
(5) 令和元年度　学校経営について（根上校長）
令和元年度 学校経営方針（資料参照）について説明。
〇単位制の利点を生かし、学力向上のため教育活動に組織的に取り組む。
〇「選ばれる学校」であるために生徒や社会の変化を踏まえた教育活動の改善・充実に努める。
〇教育公務員としての職責を自覚し、服務規律の保持を努め、信頼される学校づくりを進める。
〇「働き方改革」の推進に向けて、学校運営の改善を組織的に取り組む。

(6) 令和元年度　教育計画について（各部長）

ア　総務部

○各分掌、年次、委員会、事務と相互に連絡調整を図ること。

○ＰＴＡ活動の活性化及び外部団体や同窓会との連携をより一層図ること。

○教育環境の整備に努めるとともに、安心・安全な学校づくりを推進すること。

○防災訓練に関する企画、運営（年２回の防災訓練）

イ　教務部

○３９期生より新学習指導要領が導入のため、授業公開アンケートや生徒による授業評価等を活用するとともに、授業改善に向けた教員間の研修を促進。

○教科シラバス、ガイダンスブックの作成を精査し活用を模索している。

○授業公開週間を５日間（６月１０日～１４日）の日程で行ったが、３０名が来校。今回は、在校生保護者が多かったこと。１１月上旬に第２回目を行う予定であること。

ウ　生徒指導部

○交通安全のルールやマナー指導を徹底し、余裕を持った登校を促すこと。

○校外における挨拶の励行を促すこと。

○街頭指導の第１回目を保護者の協力を得て、６月１０日（月）・１１日（火）に実施したこと。登下校指導については、地域社会や保護者とより一層の連携を図ること。

○「学校安全教室」など講演の実施を予定していること。

エ　進路指導部

○生徒の進路実現に向けて力のある生徒を伸ばし、キャリア教育の充実を図り、生徒の意識を高揚させること。生徒の進路実現に向けた保護者の協力を仰ぐこと。

○自らが学びたいこと。研究したいことが追究できる上級学校に進学できるように生徒を指導する。個人指導を重点に、教員が適切なサポートを準備したい。

○進路における本校の魅力を外に発信する。（ 将来像、発信する力、探究心 ）

○江別の４大学と提携した、１年次の探究活動を企画している。大麻高アピールを強めていきたい。

オ　生徒会指導部

○７月４日（木）～６日（土）の日程で麻高祭が行われ、中夜際には花火大会が行われること。夏季休業明けには、体育大会を実施予定である。

○生徒会活動の一環として、１０月に「どさんこ☆子どもサミット」に参加する予定であること。

○部活動加入率は９１％を超えており（１年次生については７８％が加入している）、多くの生徒が文武両道を実践していること。

カ　教育相談・保健部

○スクールカウンセラーが月２回のペース（年４０時間、１回２時間）で道教委より派遣されている。生徒や保護者など利用者が多い。ＰＴＡの協力を得て予算を付けて頂いていること。

キ　図書情報部

○緊急時の保護者への対応等を目的としたメール配信による連絡体制（はなまる連絡帳）を活用していること。麻高ホームページの更新をしていること。是非ご覧頂きたい。

(7) 質疑・応答・意見・要望　（敬称略）

平　本：学校公開授業に参加いたしました。生徒の挨拶がいいですね。
先生方を伸ばすために管理職のよる叱咤激励をお願いしたいと思います。いつも魅力ある授業は感心させられます。これからも生徒を伸ばしてあげてください。

金　井：３年間シラバスについてどのような経緯で作成されたのですか。

回　答：元々の原案は過去にありました。３５期生から入試制度が変わり、３９期生より新学習指導要領の導入があるため、中身は少し変更しています。

金　井：大学側は生徒を受け入れる為いろいろな取り組みを行ってます。様々な経験をせることで、感性が生まれ自主性を育てることが出来ると思う。生徒を進学だけに縛り付けず、先生方も拘わって頂きたいと思う。
大麻高校の文化『進路・部活動・礼儀』を大切に作り上げてほしい。

回　答：進路指導に携わっていると、どこの大学に何名という数字にある程度こだわらなければならない。外部の目(特に中学生・中学生保護者)は、大学進学内容をメインとして大麻高校を判断するからである。そこには進学実績をあけるためではなく、1人1人の希望と適性に応じた指導が求められる。進学相談会等を開催することにより外部に実績を発信していきたい。

(8) テーマによる意見交換（敬称略）

【テーマ】「大麻高校に期待すること」

藤　原：先生方の個性も魅力かなと思う。熱意もあり、改革する気持ちを各専門の方面から検討されていることは、生徒にとってバリエーションも広がるのではと考えています。特に部活動の生徒さんの礼儀もきちんとして好感が持てます。学校生活で学んだ常識が自然に身についた事が、社会人になっても生かされるのではないかと思ってます。これからも先生方に見えない部分の指導をお願いしたい。

三　好：高校生活において、目標を見つけ出す事は、１５歳～１８歳では難しく、その実現に向かう過程で様々な挫折や困難があると思う。それを乗り越える事も、今後の人生にとって大きな勉強だと思う。
先生方には、生徒一人ひとりの将来に向かってどう進むべきかを考えさせるともに、その進路を誘導するサポートをお願いしたい。

洞　野：大麻高校の生徒は自己主張しない生徒が多いと思う。指導が厳しいだけが悪い訳とは思えず、甘い事を言うことが良いとは言えない。いろいろなさじ加減の難しさを感じます。保護者の考えもいろいろ持っている。学校に対してネガティブな考えを持っている保護者もたくさんいると思う。
先生方の個性をうまく共用して、そして負けない精神力を持ち、自信を持って日々の教育活動を実践し、生徒一人ひとりの夢や希望が叶うように導いて頂きたい、

(9) その他（荻島副校長）

〇第２回学校評議会は、令和２年２月２０日（水）を予定している。

(10) 校長挨拶（根上校長）

貴重なご意見を賜り、誠にありがとうございました。

小、中学校の十数年前から学校改革は行われているが、高校はいろいろな部分で遅れてます。生きていくテーマを身につけるため、大麻ブランド『進路・礼儀・部活動』を維持し、指導を行いたいと思う。２０２２年から新学習指導要領が導入されるため、学校の教育環境を整えながら、教育活動に邁進させます。また生徒一人ひとりの活躍を１年間、温かく見守ってほしいと思います。

本日頂戴したご意見などを参考にしながら、今後の学校経営に役立てて参りたいと思います。本日はありがとうございました。

(11) 閉会（荻島副校長）